

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 ウィルソン・ラーニング ワールドワイド株式会社

コード番号 9610 URL <http://www.wlw.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森 捷三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グローバルコーポレート本部 (氏名) 梶本 知大

TEL 03-6381-0234

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,363	6.1	72	—	57	—	55	—
24年3月期第2四半期	1,285	△21.6	△32	—	△68	—	△83	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 32百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △83百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	11.49	—
24年3月期第2四半期	△17.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	1,996	1,216	60.5	252.04
24年3月期	2,184	1,188	53.6	244.37

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,208百万円 24年3月期 1,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,151	8.2	252	137.7	262	219.5	233	174.1	48.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
 - ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期2Q	4,793,680 株	24年3月期	4,793,680 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	365 株	24年3月期	230 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期2Q	4,793,380 株	24年3月期2Q	4,793,450 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。経済情勢の変化等の不確定要素により実際の業績が記述の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①業績の概要

当第2四半期連結累計期間は、欧米をはじめ海外事業は順調に推移、日本国内事業は経営の合理化効果が現れ始めた段階にあります。

弊社ビジネスは下半期中心という事業形態がありますが、当第2四半期連結累計期間は売上増（対前年同期比6.1%）に加え、例年の営業損失の状態から脱し、営業利益を確保することが出来ました。円高、欧州経済危機等困難な経済環境下にあります、ビジネスのグローバル化への対応は適切に行われています。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高13億6千3百万円（対前年同期比6.1%増）、営業利益7千2百万円（前第2四半期連結累計期間は3千2百万円の営業損失）、経常利益5千7百万円（前第2四半期連結累計期間は6千8百万円の経常損失）となっております。また四半期純利益は5千5百万円（前第2四半期連結累計期間は8千3百万円の四半期純損失）となりました。

②セグメントの業績は、次のとおりであります。

(イ) 国内

経営合理化効果に加え、事業を3事業（HRD-Human Resource Development, DA-Data Analytics, ICT-Information Communication Technology）に分け国内市場に展開しています。人財開発テクノロジーを中心に顧客のグローバル対応へのサポート、データ解析、インターネットの活用等、経費削減等と合わせ効果も現れ、営業損失の大幅改善をみる事ができました。

この結果、売上高6億4百万円（対前年同期比1.9%増）、営業損失3千万円（対前年同期比74.3%減）となりました。

(ロ) 北米

IT業界、サービス業界から大口ライセンスの契約が獲得でき、新規顧客からの新規案件も増え売上は堅調に推移しました。また、経費削減にも努め、営業利益も増益となりました。

この結果、売上高6億5千5百万円（対前年同期比11.7%増）、営業利益5千万円（対前年同期比20.0%増）となりました。

(ハ) 欧州

製薬業界を中心にグローバル案件が増加し、イギリスをはじめフランスが牽引し、増収、増益となりました。

この結果、売上高1億8千8百万円（対前年同期比16.9%増）、営業利益1千6百万円（対前年同期比27.7%増）となりました。

(ニ) 中国

欧米グローバル企業からの継続的な研修の受注、実施に加え、新規顧客も増加し、増収、増益となりました。

この結果、売上高1億6百万円（対前年同期比26.8%増）、営業利益2千6百万円（対前年同期比43.7%増）となりました。

(ホ) アジア・パシフィック

オーストラリアは堅調に推移し、インドがやや失速しましたが、アジア地区の代理店からの収入は増加しました。

この結果、売上高7千7百万円（対前年同期比1.7%減）、営業利益7百万円（対前年同期比43.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結累計期間末における流動資産の残高は、13億1千5百万（前連結会計年度末は14億6千7百万円）となり、1億5千2百万円減少しました。これは、主に受取手形及び売掛金の減少9千5百万円、現金及び預金の減少6千2百万円があったことによるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結累計期間末における固定資産の残高は、6億8千1百万円（前連結会計年度末は7億1千7百万円）となり、3千5百万円減少しました。これは、主に建物及び構築物の減少7百万円、投資有価証券の減少6百万円、ソフトウェアの減少5百万円があったことによるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結累計期間末における流動負債の残高は、6億4千5百万円（前連結会計年度末は8億5千2百万円）となり、2億7百万円減少しました。これは、主に前受金の減少8千3百万円、買掛金の減少5千3百万があったことによるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結累計期間末における固定負債の残高は、1億3千4百万円（前連結会計年度末は1億4千3百万円）となり、8百万円減少しました。これは、主にリース債務の減少5百万があったことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結累計期間末における純資産の残高は、12億1千6百万円（前連結会計年度末は11億8千8百万円）となり、2千8百万円増加しました。これは、主に四半期純利益の計上により利益剰余金が5千5百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表した連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前々連結会計年度に3億8千9百万円の営業損失を計上しております。これは、平成20年下半期から顕著となった経済状況悪化の影響の為、売上高が減少したこと及びCC事業の営業損失が多額に発生していたことが大きく影響しております。前連結会計年度は1億6百万円、当第2四半期連結累計期間は7千2百万円の営業利益を計上しておりますが、当社は依然、当第2四半期累計期間において2千1百万円の営業損失となり、継続して営業損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる状況が存在しております。

当社は、下記の経営改善策を実施することで収益構造を改善し、当該事象の解消に向けて取り組んでおります。

- ・内製化による外注費の削減
- ・国内 HRD事業において、営業組織とソリューション組織の連携を更に強化することによる大口顧客への営業展開
- ・資金繰安定のためCC事業譲渡後の新中期計画を策定し、取引金融機関の理解を得ております。
- ・経費削減の更なる実施。

今後は、経営改善策を実行することで、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	874,857	811,874
受取手形及び売掛金	548,776	453,492
たな卸資産	29,206	33,766
その他	41,808	40,252
貸倒引当金	△26,953	△23,951
流動資産合計	1,467,694	1,315,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	149,799	142,285
工具、器具及び備品（純額）	22,070	22,299
土地	60,725	60,725
リース資産（純額）	19,475	19,959
有形固定資産合計	252,070	245,268
無形固定資産		
ソフトウェア	11,447	5,992
リース資産	23,119	18,047
その他	858	785
無形固定資産合計	35,424	24,824
投資その他の資産		
投資有価証券	200,449	194,112
敷金及び保証金	104,052	100,446
長期前払費用	103,270	101,021
その他	28,624	22,384
貸倒引当金	△6,800	△6,800
投資その他の資産合計	429,595	411,163
固定資産合計	717,089	681,255
資産合計	2,184,783	1,996,689

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,142	99,630
短期借入金	181,000	181,000
1年内返済予定の長期借入金	32,800	13,600
未払金	11,298	10,099
未払消費税等	13,083	9,226
リース債務	16,847	17,724
未払法人税等	8,948	6,581
賞与引当金	61,801	35,427
役員賞与引当金	7,486	4,298
繰延税金負債	600	—
未払費用	157,848	144,338
前受金	184,392	101,360
その他	23,314	21,802
流動負債合計	852,559	645,085
固定負債		
リース債務	30,119	24,557
資産除去債務	47,694	47,624
繰延税金負債	50,650	49,306
退職給付引当金	4,398	4,420
その他	10,581	8,714
固定負債合計	143,442	134,621
負債合計	996,001	779,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	670,368	670,368
資本剰余金	505,122	505,122
利益剰余金	△147,486	△92,418
自己株式	△136	△157
株主資本合計	1,027,868	1,082,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,592	△2,131
為替換算調整勘定	147,118	127,348
その他の包括利益累計額合計	143,526	125,217
新株予約権	4,620	—
少数株主持分	12,768	8,851
純資産合計	1,188,782	1,216,983
負債純資産合計	2,184,783	1,996,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	1,285,629	1,363,541
売上原価	437,265	447,391
売上総利益	848,364	916,150
販売費及び一般管理費	880,368	843,967
営業利益又は営業損失 (△)	△32,004	72,183
営業外収益		
受取利息	707	861
受取手数料	6,000	6,000
受取配当金	1,000	1,000
賃貸料収入	431	454
持分法による投資利益	3,222	0
雑収入	1,889	2,737
営業外収益合計	13,249	11,052
営業外費用		
支払利息	2,947	2,174
為替差損	30,446	17,191
減価償却費	9,626	3,660
投資事業組合運用損	2,962	1,556
賃貸収入原価	431	454
雑損失	3,690	1,096
営業外費用合計	50,102	26,131
経常利益又は経常損失 (△)	△68,857	57,104
特別利益		
新株予約権戻入益	—	4,620
特別利益合計	—	4,620
特別損失		
減損損失	810	—
関係会社株式売却損	13,659	—
特別損失合計	14,469	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△83,326	61,724
法人税、住民税及び事業税	12,078	12,522
法人税等還付税額	△1,738	—
法人税等調整額	△8,308	△1,949
法人税等合計	2,032	10,573
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△85,358	51,151
少数株主損失 (△)	△1,404	△3,917
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△83,954	55,068

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△85,358	51,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,080	1,461
為替換算調整勘定	△14,437	△18,465
持分法適用会社に対する持分相当額	18,058	△1,305
その他の包括利益合計	1,541	△18,309
四半期包括利益	△83,817	32,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82,413	36,759
少数株主に係る四半期包括利益	△1,404	△3,917

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。